

⚠ 注意



現品が注文通りの製品かどうか確認する。

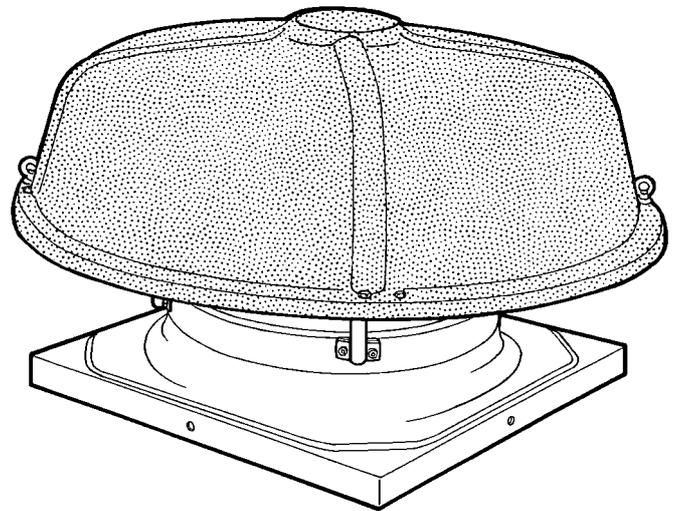
*間違った製品を使用すると、爆発や破損によるケガや火災、事故の恐れがあります。

Suiden

屋上換気扇 強制換気 & 自然換気

Fシリーズ (標準型) FEシリーズ (風圧シャッター型)
 FLシリーズ (低騒音型) FNシリーズ (自然換気型)
 FCシリーズ (防食型)

取扱説明書



もくじ

1	安全のために必ずお守りください.....	1
2	仕様.....	5
3	各部の寸法.....	7
	1. 本体の寸法	7
	2. 架台の寸法	7
4	各部の名称.....	9
5	架台、袴の施工例.....	10
6	電源への接続.....	11
	1. モーターリード線と電源ケーブルの接続	11
	2. 電源への接続	12
	3. 吸気仕様への変更	13
7	こんなときは(故障かな?と思ったら)...	14
8	自然換気型を強制換気型にする.....	15
9	安全のための点検のお願い.....	18
10	アフターサービスと保証について.....	19
*	アフターサービスのお申し込みについて...	19

世界のブランド〈**Suiden** スイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

日本国内交流電源仕様

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、△危険・△警告・△注意の3つに区分しています。

しかし、△注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

△危険 : 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。

△警告 : 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

△注意 : 取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記 : 警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		△記号は、危険を告げるもの、または警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な危険事項や、注意事項を描いたものもあります。(左図は感電危険)
		⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止事項を描いたものもあります。(左図は分解禁止)
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な注意事項を描いたものもあります。(左図はアースする)

●製品仕様への注意事項

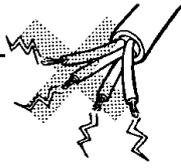
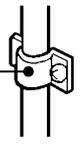
△ 危険	
	<p>必ず設置建屋の雰囲気と適合した機種を設置する。</p> <p>* 爆発性ガスや可燃性ガスなどを取扱う建屋では、防爆型を設置してください。防爆型以外の機種を設置すると、爆発による死亡やケガ、火災の恐れがあります。</p> <p>* 腐食性ガスや液体を取扱う建屋では、防食型を設置してください。防食型以外の機種を設置すると、腐食による本体落下などによるケガや事故の恐れがあります。</p>

△ 注意	
	<p>決められた製品仕様以外で使用しない。</p> <p>* 漏電・感電・火災・爆発などの原因になります。</p>

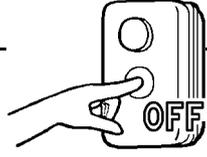
●搬入・移動上の注意事項

△ 危険	
<p> 送電線・配電線の近くでクレーンを使用した搬入・設置・取替え工事をする場合は、必ず電力会社に連絡する。</p> <p>* 感電の危険があります。</p> <p>電力会社では、安全に作業できるように無料で相談を受けられます。</p>	<p> 本機を、屋根の上で人手により運搬する場合は、十分な足場を確保する。</p> <p>* 作業員の転落や、本機の落下などにより、死亡事故やケガの恐れがあります。</p>

●配管・配線上の注意事項

⚠ 危険	
<p>⊘ 活線状態で作業しない。 * 感電や火災の危険があります。</p>	
⚠ 注意	
<p>❗ 配線工事は、電気設備技術基準や、内線規定に従って、安全確実に行う。 * 接続不良や誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。</p>	<p>❗ 湿気の多い建屋には、漏電ブレーカーを設置する。 * 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。</p>
<p>❗ 保護装置を必ず設置する。 * 過電流保護装置は、電気設備技術基準により取付けが義務付けられています。 モータ焼損による火災や破損を防止するため、過電流保護装置以外の保護装置（漏電遮断器など）も設置されることを推奨します。 本機に保護装置は付属していません。</p>	<p>❗ 他の電気器具と電源を併用する場合は、電源の容量を超えないようにする。 * 分岐部が異常発熱・爆発・発火することがあります。</p>
<p>⊘ 電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。 * 電源ケーブルが破損し、爆発・火災・感電の原因になります。</p>	<p>❗ モータ保護装置の設置の際は、接続ケーブルをコード押さえなどで確実に固定する。コード押さえ * 漏電や、ショートして火災の原因になります。</p> <div style="text-align: right;">  </div>

●試運転・運転の際の注意事項

⚠ 危険	
<p>❗ 停電したときは、必ず電源スイッチを切る。 * 復帰時にケガの恐れがあります。</p>	
⚠ 警告	
<p>❗ 定格電圧内で使用する。 電源100V機種は、100V±10%。電源3相200V機種は、200V±10% * 感電や、ショートして発火・爆発の原因になります。規定の電圧以外の電圧をかけないでください。</p>	<p>⊘ 濡れた手で、電源プラグやスイッチ、配線などの電気回りを触らない。 * 感電やケガをすることがあります。</p>
<p>⊘ 動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源を遮断し、電気工事施工店に必ず点検修理を依頼する。 * 感電・漏電、ショートなどによる爆発・火災の恐れがあります。</p>	<p>⊘ ハネが回転中に、器物を差込んだり、当てたりしない。 * 差込んだ物が壊れたり、ハネの変形などにより、事故の原因になります。</p>
<p>⊘ ハネが回転中に、本機に指や髪の毛を近づけない。 * 回転中のハネで指が切断されたり、重大なケガになります。</p>	<p>⊘ 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 * ケガ、やけど、絶縁劣化による感電・漏電・爆発・火災の原因になります。</p>
<p>⊘ 本機およびダクトにぶら下がったり、物を吊るしたりしない。 * ケガをすることがあります。</p>	

⚠ 警告

<p> 電源ケーブル・電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 * 感電や、ショートして爆発・発火の原因になります。</p>	<p> 電源ケーブルは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 * ケーブルが発熱して爆発や火災の危険があります。必ず伸ばした状態で使用してください。</p>
<p> 電源ケーブルに重い物をのせたり、挟み込まない。 * 電源ケーブルが破損し、爆発・火災・感電の原因になります。</p>	<p> 電源プラグにピンやゴミを付着させない。 * 感電や、ショートして爆発・発火の原因になります。</p>

⚠ 注意

<p> 本機に異常が発生した場合は、すぐに運転を停止し、電源を遮断する。 * 感電・ケガ・火災の恐れがあります。</p>	<p> 排気口をふさがない。 * 異常過熱による火災や、やけどの原因になります。</p>
<p> 吸気口をふさいで長時間運転しない。 * 異常過熱による爆発・火災・やけどの原因になります。</p>	<p> 本機の銘板およびモータの銘板は、常によく読めるようにする。 * 取外さないでください。</p>
<p> 粉じんや油煙が多く発生する建屋では、必ず定期的にハネやモータを清掃する。 * 振動による事故の原因になります。 また、モータに負担がかかり、モータ焼損を原因とした火災の恐れがあります。</p>	

●保守・点検の際の注意事項

⚠ 危険

<p> 保守点検の際は、必ず制御回路のブレーカーと制御スイッチを切る。 また、不注意などでスイッチを投入しないように、制御スイッチに「投入禁止」の札をつける。 * 感電や事故の恐れがあります。</p>

⚠ 注意

<p> 修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 * 発火したり異常動作してケガをすることがあります。</p>	<p> 保守点検の際は、安定した足場を用意する。 * 転落してケガをする恐れがあります。</p>
<p> 清掃の際は、必ず電源を遮断し、ハネの回転が完全に止まってから行う。 * 感電やケガをする恐れがあります。</p>	<p> ハネ交換の際は、モータ軸のキー溝を素手で触らない。 * ケガをする恐れがあります。</p>
<p> 保守点検の際は、モータを素手で触らない。 * 運転中のモータは、表面が高温になっています。停止直後のモータに触ると、やけどの恐れがあります。</p>	<p> 本体・ハネなどを拭く場合、タワシ・磨き砂・ベンジン・シンナーは使用しない。 * 塗装面を剥離し、腐食やハネのバランス不良による事故の原因になります。 本体・ハネなどを拭く場合は、中性洗剤の薄め液をご使用ください。</p>

2 仕様

仕様一覧表

型	品番	ハネ		電源	電動機			質量 (kg)
		外径 (mm)	枚数 (枚)		出力 (kW)	極数 (Poles)	定格電流(A)※ 50/60Hz	
標準型	SRF-R40F	400	4	3相200V	0.2	6	1.5/1.5	27
	SRF-NR50F	500			0.4		2.1/2.2	39.5
	SRF-TR60F	600			0.75		4.7/5.0	62.5
	SRF-TR75F	735			1.5		8.0/10.5	91.5
	SRF-TR90F	890			2.2		12.5/14.0	145
低騒音型	SRF-R40FL	400	4	100V	0.15	8	1.4/1.9	27
	SRF-R50FL	500		3相200V	0.2		1.5/1.3	40
	SRF-R60FL	600			0.4		2.9/2.9	57
	SRF-R75FL2	735			0.75		4.9/6.1	89
	SRF-R90FL2	890			1.5		8.2/7.2	131
風圧シャッター型	SRF-R40FE	400	4	3相200V	0.2	6	1.5/1.5	31.5
	SRF-NR50FE	500			0.4		2.1/2.2	46
	SRF-TR60FE	600			0.75		4.7/5.0	70
	SRF-TR75FE	735			1.5		8.0/10.5	102.5
	SRF-TR90FE	890			2.2		12.5/14.0	157.5
防食型	SRF-R40FC	400	4	3相200V	0.2	6	1.5/1.5	27
	SRF-NR50FC	500			0.4		2.1/2.2	39.5
	SRF-TR60FC	600			0.75		4.7/5.0	62.5
	SRF-TR75FC	735			1.5		8.0/10.5	91.5
	SRF-TR90FC	890			2.2		12.5/14.0	145

※定格電流値は、屋上換気扇として(機器として)の定格電流値を設定、表示しています。
モータの銘板に記載されている電流値と一致しないことがありますのでご注意ください。

型	品番	ボディ胴径 (mm)	備考	質量 (kg)
自然換気式	SRF-R40FN	呼称400	FRPドームと本体ボディのケーシング部分のみで構成。 必要に応じて、ハネとモータを追加することも可能です。 ※機種により、安全ガード組品の交換が必要です。	19
	SRF-R50FN	呼称500		25.5
	SRF-R60FN	呼称600		34
	SRF-R75FN	呼称750		49
	SRF-R90FN	呼称900		76.5

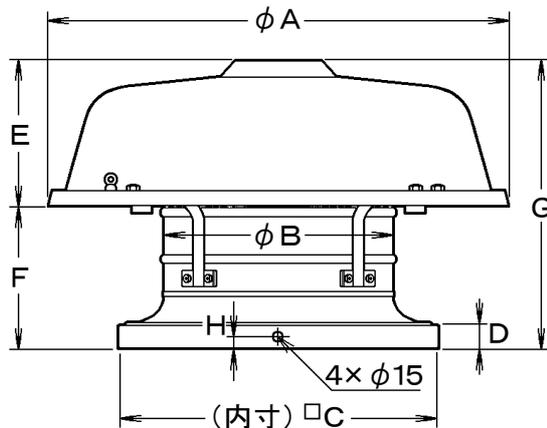
騒音・風量一覧表

型	ハネ外径 (mm)	周波数 (Hz)	騒音 (dB)		各静圧時の風量 (m ³ /min)						
			吸込口 1.5m	排気口 1.5m	0 Pa	20 Pa	40 Pa	60 Pa	80 Pa	100 Pa	120 Pa
低騒音型を除く機種	400	50	76	65	62	55	50	43	37	30	23
		60	79	68	69	65	62	57	52	45	38
	500	50	65	61	81	75	68	59	49	43	37
		60	68.5	64.5	95	89	83	77	68	59	53
	600	50	69.5	62.5	133	129	123	115	107	99	91
		60	73.5	67.5	155	150	145	139	132	125	118
	735	50	76.0	71.0	217	207	191	174	159	147	137
		60	81	75.0	251	244	233	218	202	188	177
	890	50	81	76.5	337	323	308	293	276	257	236
		60	86	81	388	374	362	349	336	322	307

型	ハネ外径 (mm)	周波数 (Hz)	騒音 (dB)		各静圧時の風量 (m ³ /min)						
			吸込口 1.5m	排気口 1.5m	0 Pa	20 Pa	40 Pa	60 Pa	80 Pa	100 Pa	120 Pa
低騒音型	400	50	58.5	55	42	30	—	—	—	—	—
		60	59	56	49	37	—	—	—	—	—
	500	50	60	53	79	73	63	46	26	16	11
		60	67	57	89	82	71	49	33	23	16
	600	50	67	56	92	87	79	64	42	28	15
		60	71	58	105	96	88	77	64	51	40
	735	50	69	62	200	183	171	157	142	122	101
		60	73	65	233	216	202	188	172	152	134
	890	50	79	69	268	250	233	220	204	189	172
		60	82	73	296	277	266	254	243	233	225

3 各部の寸法

1. 本体の寸法



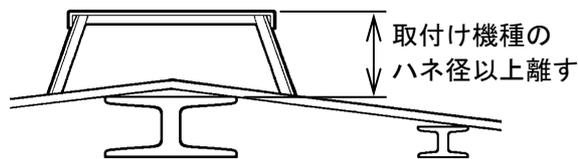
単位：mm

ハネ径タイプ	A	B	C	D	E	F	G	H
40タイプの機種	900	418	630	50	300	260	560	25
50タイプ	1040	523	710		320	315	635	
						321	641	
60タイプ	1200	623	800	55	370	339	709	
						345	715	
75タイプの機種	1462	773	1000	65	455	460	915	35
90タイプの機種	1775	923	1250		560	420	980	

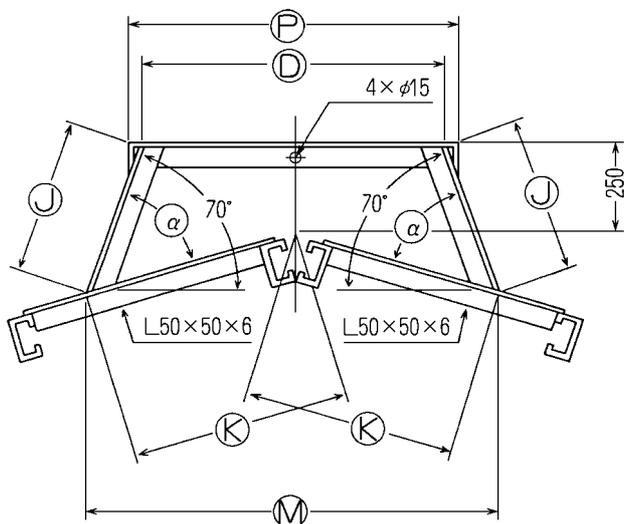
2. 架台の寸法

注記

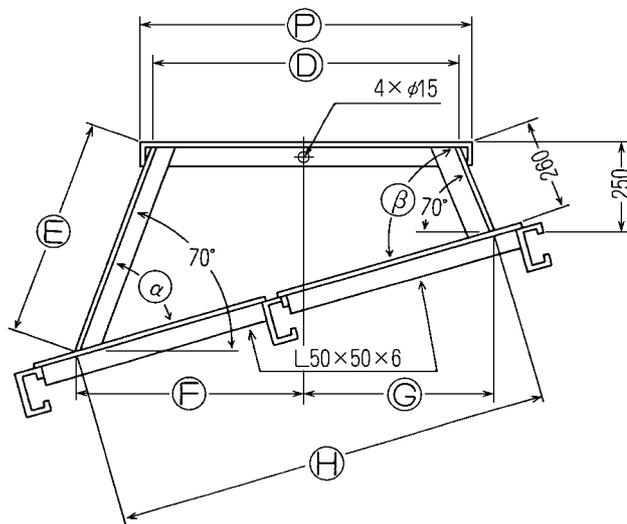
- ①建屋の構造や、換気扇の取付け位置などにより、吸気方向の障害物を避けられない場合は、架台上端から障害物までの距離を、取付け機種のハネ径以上離して設計してください。
- ②架台は建屋の構造に応じて製作してください。
(下図は、参考図面です)
架台各部の寸法は、架台寸法表をご覧ください。



《切妻施工例》

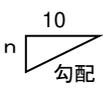


《片流れ施工例》



(参考) 架台寸法表

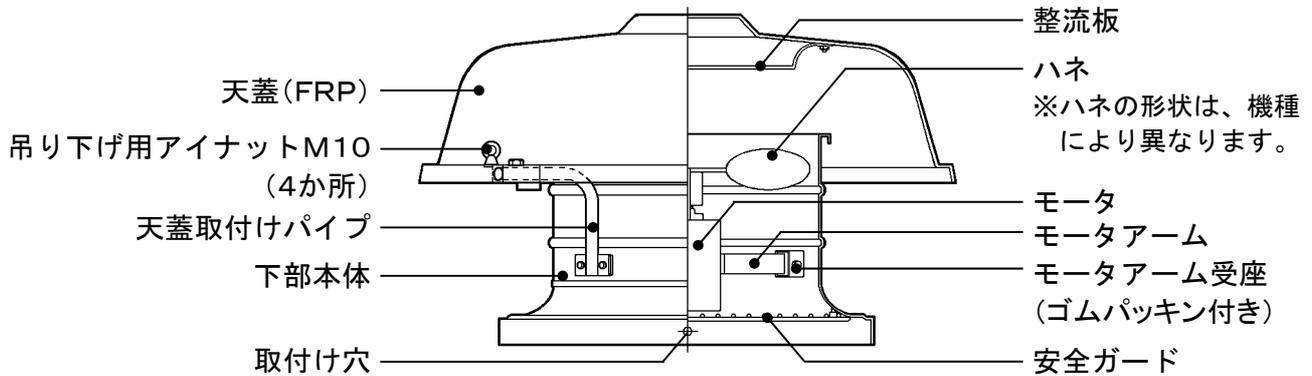
単位mm

品番		P	D	E	F	G	H	J	K	M	α	β
SRF-R40F SRF-R40FL SRF-R40FE SRF-R40FC SRF-R40FN	1.0	615	570	342	402	374	780	307	392	780	64°17′	75°43′
	1.5			386	417		800	329	402	795	61°28′	78°32′
	2.0			431	433		823	351	413	810	58°41′	81°19′
	2.5			479	449		848	373	423	825	55°58′	84°02′
	3.0			528	466		877	402	438	845	53°18′	86°42′
	3.5			579	483		908	424	456	860	50°43′	89°17′
	4.0			632	501		943	453	474	880	48°12′	91°48′
	4.5			688	520		981	482	493	900	45°46′	94°14′
SRF-NR50F SRF-R50FL SRF-NR50FE SRF-NR50FC SRF-R50FN	1.0	695	650	351	445	414	863	314	435	865	64°17′	75°43′
	1.5			399	462		885	336	445	880	61°28′	78°32′
	2.0			450	479		911	358	459	895	58°41′	81°19′
	2.5			502	497		939	387	469	915	55°58′	84°02′
	3.0			556	515		970	417	485	935	53°18′	86°42′
	3.5			613	535		1005	446	506	955	50°43′	89°17′
	4.0			672	555		1044	475	525	975	48°12′	91°48′
	4.5			734	576		1086	504	546	995	45°46′	94°14′
SRF-TR60F SRF-R60FL SRF-TR60FE SRF-TR60FC SRF-R60FN	1.0	785	740	361	494	459	957	314	480	955	64°17′	75°43′
	1.5			415	512		982	344	493	975	61°28′	78°32′
	2.0			470	531		1010	373	505	995	58°41′	81°19′
	2.5			528	551		1041	402	521	1015	55°58′	84°02′
	3.0			589	571		1076	431	538	1035	53°18′	86°42′
	3.5			651	593		1114	460	559	1055	50°43′	89°17′
	4.0			717	615		1157	497	582	1080	48°12′	91°48′
	4.5			785	639		1204	534	606	1105	45°46′	94°14′
SRF-TR75F SRF-R75FL2 SRF-TR75FE SRF-TR75FC SRF-R75FN	1.0	985	940	383	601	559	1166	329	585	1165	64°17′	75°43′
	1.5			449	623		1196	358	599	1185	61°28′	78°32′
	2.0			516	647		1230	395	612	1210	58°41′	81°19′
	2.5			587	671		1268	431	634	1235	55°58′	84°02′
	3.0			660	696		1310	468	653	1260	53°18′	86°42′
	3.5			737	722		1357	504	681	1285	50°43′	89°17′
	4.0			817	749		1409	548	708	1315	48°12′	91°48′
	4.5			900	778		1466	585	735	1340	45°46′	94°14′
SRF-TR90F SRF-R90FL2 SRF-TR90FE SRF-TR90FC SRF-R90FN	1.0	1235	1190	411	736	684	1427	344	716	1425	64°17′	75°43′
	1.5			491	763		1463	380	733	1450	61°28′	78°32′
	2.0			574	791		1504	424	750	1480	58°41′	81°19′
	2.5			660	821		1551	468	773	1510	55°58′	84°02′
	3.0			750	852		1603	512	799	1540	53°18′	86°42′
	3.5			844	884		1661	556	832	1570	50°43′	89°17′
	4.0			941	917		1724	607	864	1605	48°12′	91°48′
	4.5			1043	952		1794	658	899	1640	45°46′	94°14′

4 各部の名称

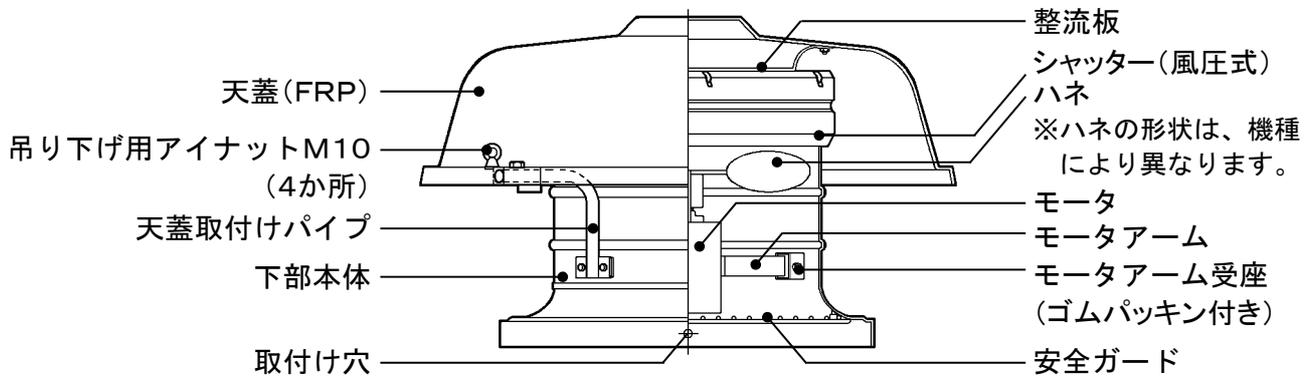
標準型(F)・低騒音型(FL)・防食型(FC)

(注)ハネ径40タイプには、整流板はありません。

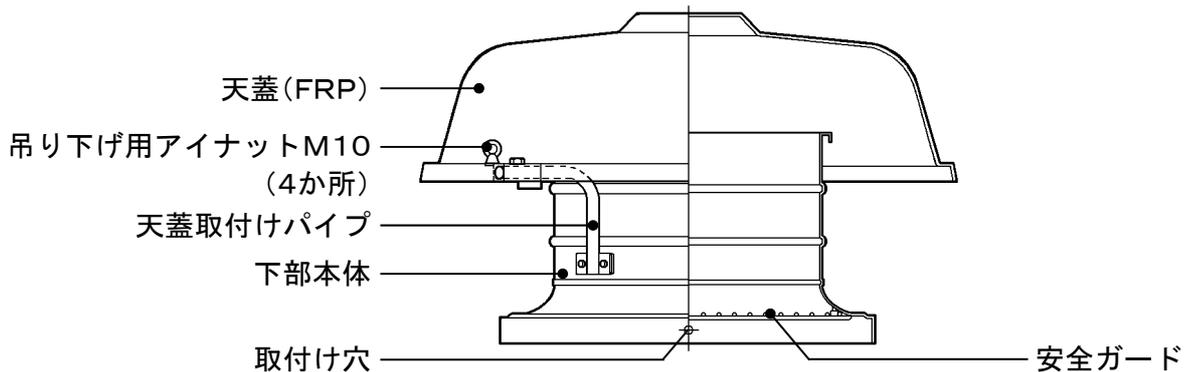


風圧シャッター型(FE)

(注)SRF-R40FEには、整流板はありません。



自然換気型(FN)



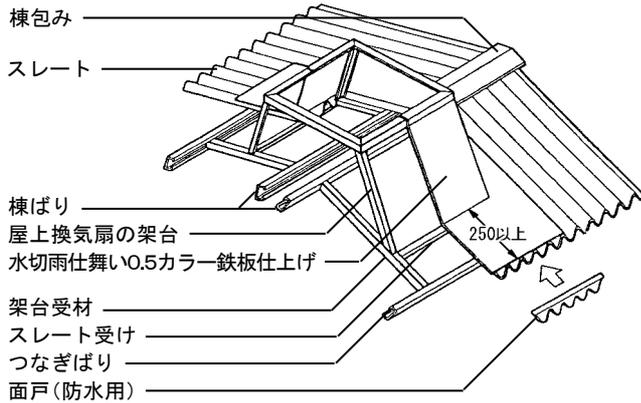
5 架台、袴の施工例

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

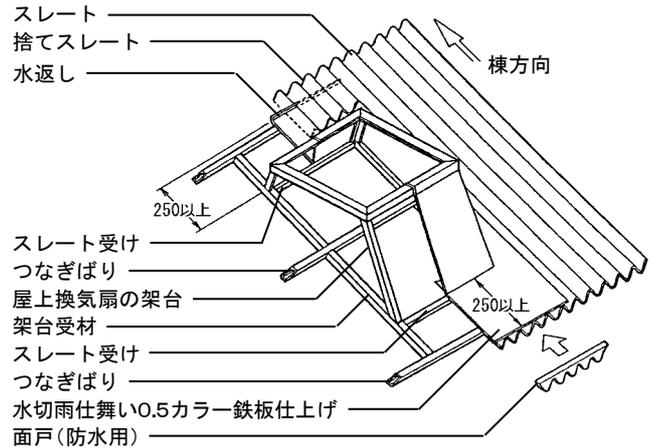
注記

- ①製品・架台・袴の雨じまいは、雨漏り事故防止のため、屋根材に合った面戸およびコーキング剤を使用し、ボルト穴や各接合部の防水処理を行ってください。
- ②当社でも施工工事を行っています。当社お客様相談室までお気軽にご相談ください。

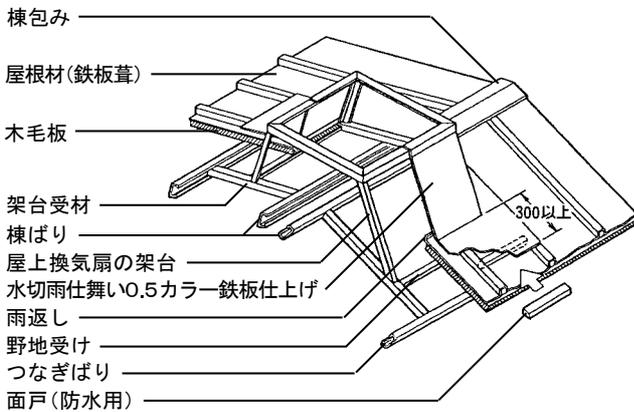
●スレート棟



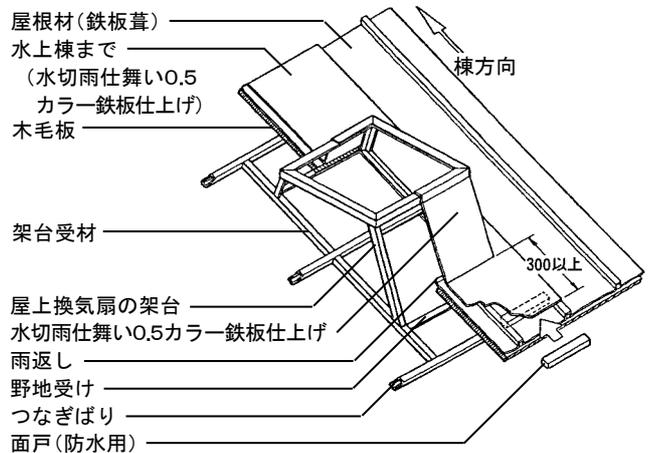
●スレート片流れ



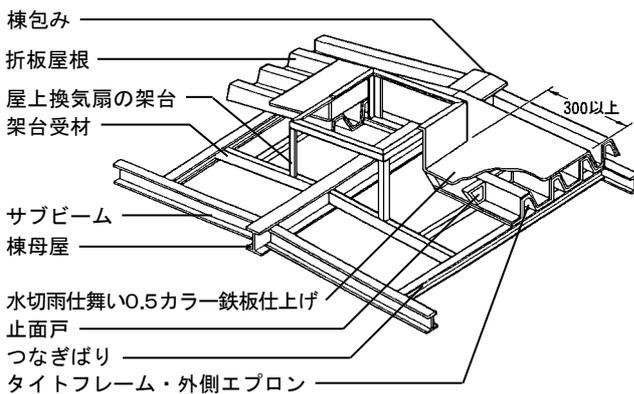
●瓦棒棟



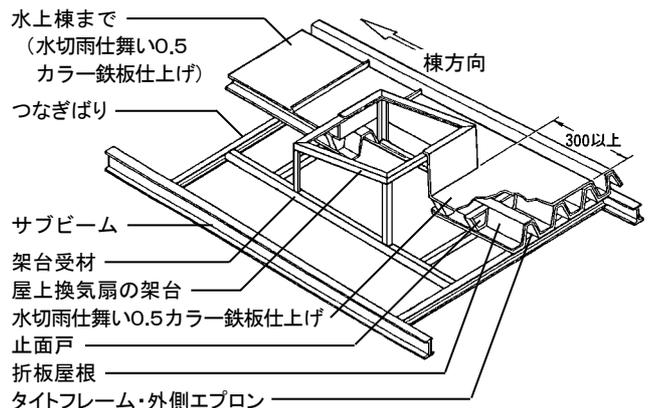
●瓦棒片流れ



●折板棟



●折板片流れ



6 電源への接続

⚠ 注意



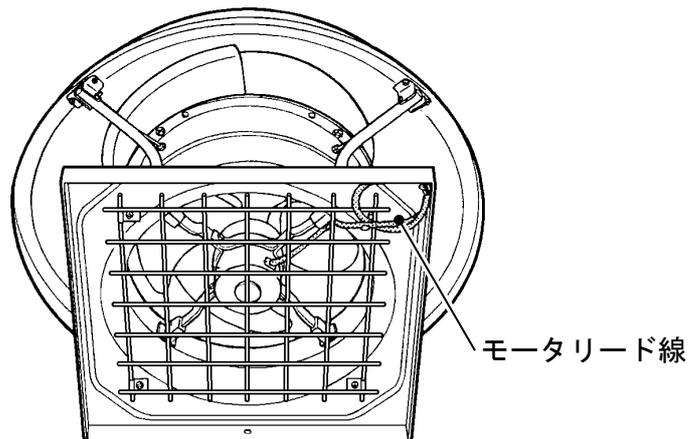
配線をする前に、3ページ「配管・配線上の注意事項」をよく読んでから、配線工事をしてください。

注記

- ①換気扇のトラブルで過半数を占めるのが、3相200Vモータの欠相運転によるモータ焼損事故です。サーマルリレー付き電磁開閉器を取付け、正しく使用すれば、事故は防ぐことができます。欠相運転やその他のトラブルからモータを保護するために、必ず換気扇1台につき1個のサーマルリレー付き電磁開閉器を設置してください。なお、サーマルリレーの動作復帰方法として手動リセットと自動リセットの2種類がありますが、換気扇の性質上から、手動リセット式のサーマルリレーをご使用ください。
- ②電流計付きの電源ボックスは、モータ焼損の原因になりますので、使用しないでください。換気扇の起動時は、運転電流の約3倍の電流が流れます。換気扇の運転・停止により、起動電流が繰り返し流れると、電流計のスケールの小さなものは断線することがあり、欠相状態や単相運転になることがあります。
- ③モータを正回転で接続すると、換気扇のハネが逆回転になる場合があります。モータはハネが正回転になるように接続してください。（12ページ参照）

1. モータリード線と電源ケーブルの接続

- ① 換気扇のモータリード線は、本体下部から出ています。適応する電源ケーブルの線径（公称断面積）は、電源ケーブルの長さに応じて、下表より選定してください。



線径（公称断面積）

標準型(F)・風圧シャッター型(FE)・防食型(FC)の各機種

単位：mm²

ケーブル長さ ハネ径	10m 以下	20m 以下	30m 以下	40m 以下	50m 以下	60m 以下	70m 以下	80m 以下	90m 以下	100m 以下	線芯 数
40cmタイプ	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	1.25	1.25	1.25	4 芯
50cmタイプ	0.75	0.75	0.75	0.75	1.25	1.25	1.25	2	2	3.5	
60cmタイプ	1.25	1.25	1.25	2	2	3.5	3.5	3.5	3.5	5.5	
75cmタイプ	1.25	1.25	2	3.5	3.5	5.5	5.5	5.5	5.5	8	
90cmタイプ	2	2	3.5	3.5	5.5	5.5	5.5	8	8	8	

低騒音型(FL)機種

単位：mm²

ケーブル長さ 品番	10m 以下	20m 以下	30m 以下	40m 以下	50m 以下	60m 以下	70m 以下	80m 以下	90m 以下	100m 以下	線芯 数
SRF-R40FL	0.75	0.75	1.25	1.25	1.25	2	2	3.5	3.5	3.5	2 芯
SRF-R50FL	0.75	0.75	0.75	0.75	1.75	1.25	1.25	1.25	2	2	
SRF-R60FL	0.75	0.75	0.75	1.25	1.25	2	2	2	3.5	3.5	
SRF-R75FL2	2	2	2	2	2	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
SRF-R90FL2	2	2	3.5	3.5	3.5	5.5	5.5	8	8	8	

7 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

注記 下記の作業は、屋根上作業・高所作業・電気知識の必要な作業です。職場に有資格者が居られない場合は、必ず専門家にご相談ください。

症 状	原 因	対 策
異常音が発生した 振動が発生した	①ハネに異物が付着していませんか？ ②ハネに亀裂が入っていませんか？ ③ハネ締め付けナットがゆるんでいませんか？ ④モータベアリングが摩耗したり破損していませんか？	①ハネを清掃するか、交換してください。 ②ハネを交換してください。 ③ナットを増し締めしてください。 ④モータのオーバーホールをしてください。
スイッチを入れても始動しない	①スイッチの不具合ではありませんか？ ②電源ケーブル接続部の接触不良ではありませんか？ ③電源ケーブルが断線していませんか？ ④モータの故障ではありませんか？	①スイッチを修理または交換してください。 ②接触不良箇所を接続し直してください。 ③断線箇所を補修するか、電源ケーブルを交換してください。 ④モータのオーバーホールをするか、新しいモータに交換してください。
スイッチを入れると、すぐスイッチがトリップした	①二次側電気配線が短絡していませんか？	①点検の上、結線し直してください。
運転途中で止まった （保護装置が作動した） ●100V機種 運転・停止を繰り返す	①ハネに異物が付着していませんか？ ②吸気側や排気側に、空気の流れの妨げになるものはありませんか？ （特にダクト配管している場合） ③電源ケーブル接続部の接触不良ではありませんか？ ④電源側のトラブルではありませんか？ （電圧降下など）	①ハネを清掃するか、交換してください。 ②空気の流れを妨げているものを取除いてください。 ③接触不良箇所を接続し直してください。 ④電源側を点検してください。

上記処置をしても症状が改善しない場合は使用を中止し、電源を切って、販売店に点検・修理をご依頼ください。ご依頼の際は、故障内容と共に、銘板に記載している機種名をご連絡ください。

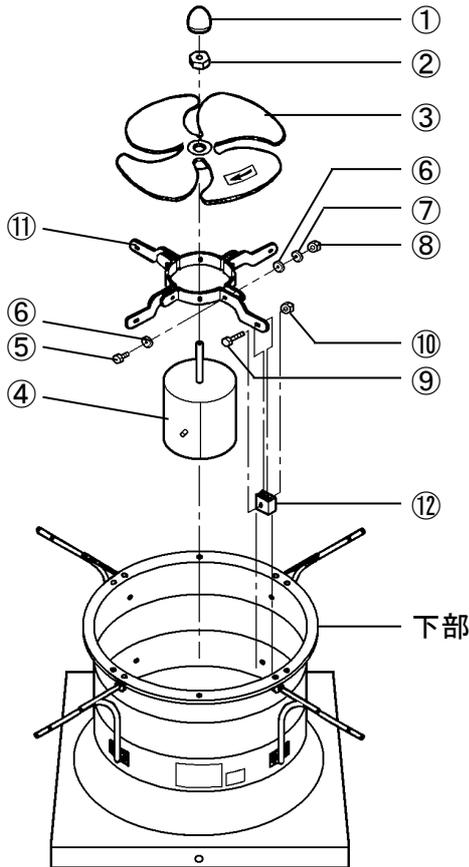
8 自然換気型を強制換気型にする

注記 各部品の組込みは高所作業になりますので、必ず専門家に依頼してください。

自然換気型(FNシリーズ)は、設置後でも、モータとハネを組込むことにより強制換気型に改造が可能です。ご使用場所の作業内容の変更などで強制排気が必要になったときは、下表を参考に必要部品をお買い求めください。

各部品組込み後の能力は、5～6ページ「仕様」の「低騒音型を除く機種」の項を参照してください。

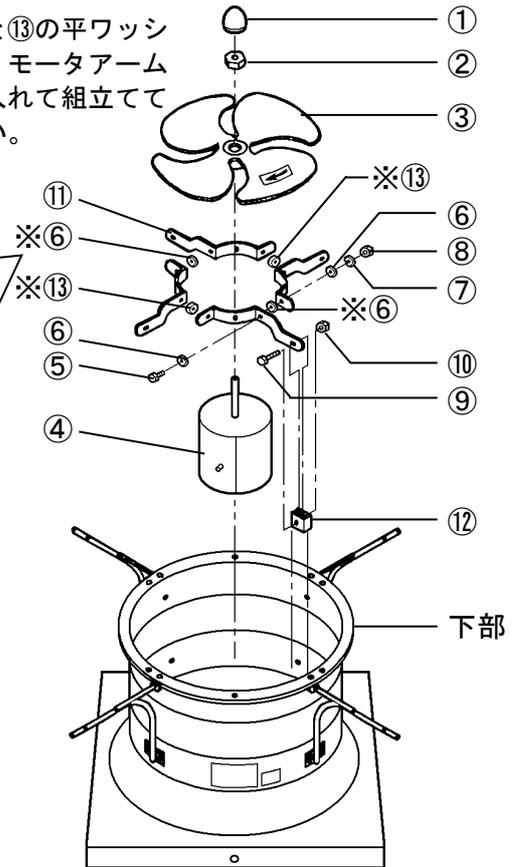
●SRF-R40FN



●SRF-R50FN

※図番⑥と⑬の平ワッシャーを、モータアーム間にも入れて組立ててください。

⑥と⑬の平ワッシャーは、厚みが違います。交互に入れてください。



●SRF-R40FN

図番	部品名	個数
①	スピナーキャップ(小).....	1 個
②	M10 Uナット.....	1 個
③	ハネ.....	1 枚
④	モータ(0.2kW 4P).....	1 個
⑤	M8×30六角ボルト.....	4 本
⑥	φ8平ワッシャー.....	8 個
⑦	φ8スプリングワッシャー...	4 個
⑧	M8ナット.....	4 個
⑨	M8×35六角ボルト(SUS)...	4 本
⑩	M8コーティングナット.....	4 個
⑪	モータアーム.....	4本組
⑫	アーム受座ゴム(小).....	4 個

●SRF-R50FN

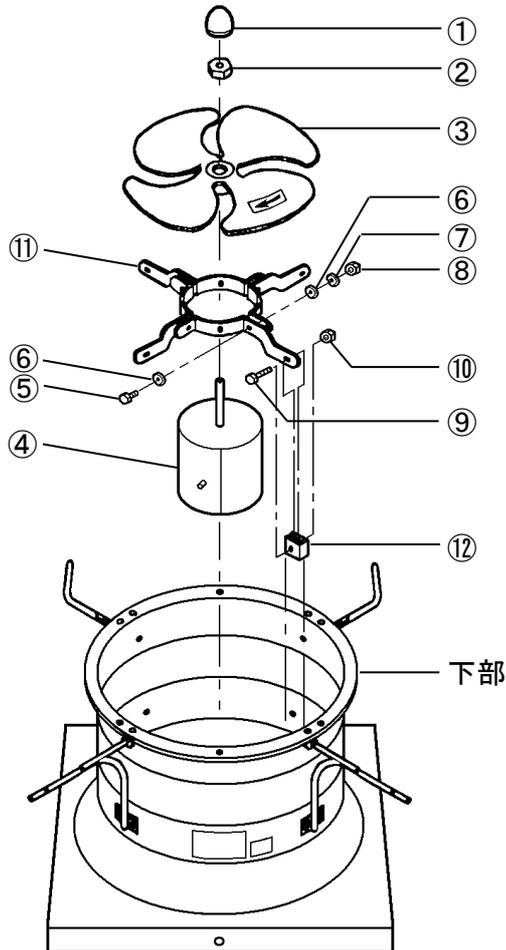
図番	部品名	個数
①	スピナーキャップ(小).....	1 個
②	M12 Uナット.....	1 個
③	ハネ.....	1 枚
④	モータ(0.4kW 6P).....	1 個
⑤	M8×30六角ボルト.....	4 本
⑥	φ8平ワッシャー.....	10 個
⑦	φ8スプリングワッシャー...	4 個
⑧	M8ナット.....	4 個
⑨	M8×35六角ボルト(SUS)...	4 本
⑩	M8コーティングナット.....	4 個
⑪	モータアーム.....	4本組
⑫	アーム受座ゴム(小).....	4 個
⑬	φ8平ワッシャー(厚 t3.2)...	2 個

※図番⑤～⑨は、モータとモータアーム固定用ネジ類です。SRF-R50FNは、図番⑬も使用します。

※図番⑩～⑪は、下部とモータアーム固定用ネジ類です。

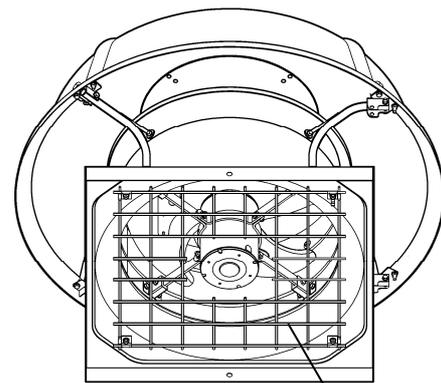
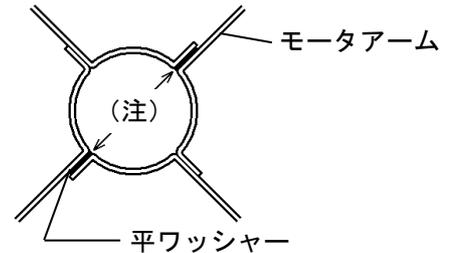
自然換気型を強制換気型にする

●SRF-R60FN



●SRF-R60FN

図番⑥の平ワッシャーを、対角上のモーターアーム間に入れて組立ててください。



⑬
安全ガードの中央に
穴を開けています。

●SRF-R60FN 新たに必要な部品

図番	部品名	個数
①	スピナーキャップ(大)……	1 個
②	M16 Uナット……………	1 個
③	ハネ……………	1 枚
④	モーター(0.75kW 6P)……	1 個
⑤	M8×30六角ボルト……………	4 本
⑥	φ8平ワッシャー……………	10 個
⑦	φ8スプリングワッシャー…	4 個
⑧	M8ナット……………	4 個
⑨	M8×35六角ボルト(SUS)…	4 本
⑩	M8コーティングナット……	4 個
⑪	モーターアーム……………	4 本組
⑫	アーム受座ゴム(小)……………	4 個

※図番⑤～⑧は、モーターとモーターアーム固定用ネジ類です。

※図番⑨～⑩は、下部とモーターアーム固定用ネジ類です。

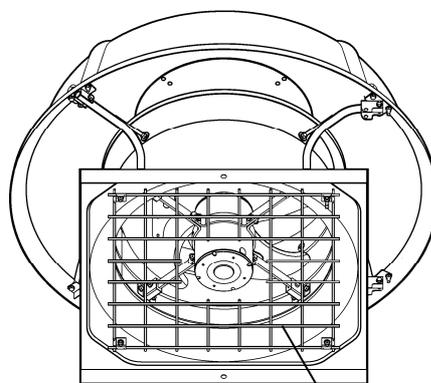
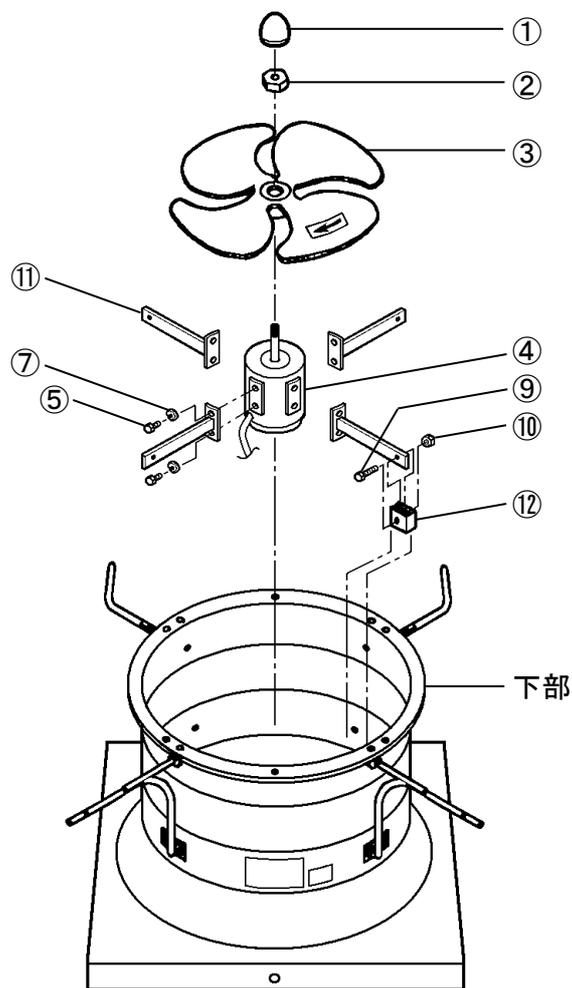
●交換する部品

図番	部品名	個数
⑬	安全ガード組品SRF-TR60F…	1 個

* 高効率 I E 3 モーターは従来のモーターより全長が大きいので、SRF-FN用下部組品の安全ガードに接触し取付けることができません。

自然換気型を強制換気型にする

●SRF-R75FN, SRF-R90FN



⑬
安全ガードの中央に
穴を開けています。

●SRF-R75FN

図番	部品名	個数
①	スピナーキャップ(大)……	1 個
②	Uナット(モータに付属)……	1 個
③	ハネ……	1 枚
④	モータ(1.5kW 6P)……	1 個
⑤	M8×20六角ボルト……	8 本
⑥	—	—
⑦	φ8スプリングワッシャー…	8 個
⑧	—	—
⑨	M8×35六角ボルト(SUS)…	4 本
⑩	M8コーティングナット……	4 個
⑪	モータアーム……	4本組
⑫	アーム受座ゴム(大)……	4 個
⑬	安全ガード組品SRF-TR75F…	1 個

●SRF-R90FN

図番	部品名	個数
①	スピナーキャップ(大)……	1 個
②	Uナット(モータに付属)……	1 個
③	ハネ……	1 枚
④	モータ(2.2kW 6P)……	1 個
⑤	M16×30六角ボルト……	8 本
⑥	—	—
⑦	φ8スプリングワッシャー…	8 個
⑧	—	—
⑨	M8×35六角ボルト(SUS)…	4 本
⑩	M8コーティングナット……	4 個
⑪	モータアーム……	4本組
⑫	アーム受座ゴム(大)……	4 個
⑬	安全ガード組品SRF-TR90F…	1 個

※図番⑤、⑦は、モータとモータアーム固定用ネジ類です。

※図番⑨～⑩は、下部とモータアーム固定用ネジ類です。

※図番⑬は、安全ガードとモータの接触を避けるため、交換が必要な部品です。

9 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全確保のため、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検を行ってください。

点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対にしないでください。部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

点検項目	処 置
電源ケーブルは、傷んだり変形していませんか？	電源ケーブルの交換が必要です。
電源プラグは、変形やガタがありませんか？	プラグの交換が必要です。
ハネに亀裂が入っていませんか？	ハネの交換が必要です。
ハネは腐食していませんか？	
ハネの回転バランスが狂っていませんか？	
スイッチは、正しく機能していますか？	作動不良を起こしている場合は、スイッチの交換が必要です。
本体各部は、腐食していませんか？ 腐食性液体や腐食性ガスの発生する建屋に設置している場合は、入念に点検してください。	腐食部分の部品の交換が必要です。

※モータは密閉型ボールベアリングを採用していますので、注油の必要はありません。

※年1回程度、モータの絶縁抵抗を検査することも安全対策として有効です。規格は1メガオームですが、実際には最低10メガオーム程度に抑えておくほうが無難です。検査には専門知識が必要です。

●点検、清掃について

モータ、モータアーム、ハネ、下部本体は、定期的に清掃してください。

過度の汚れは、性能低下、モータ焼損、ハネ破損の原因になります。

点検・清掃中に、腐食などの不具合が見つかったときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

10 アフターサービスと保証について

△ 注意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

- * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
- * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- * 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。（日本国内でご使用の場合に限ります。）
ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

△ 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

★長年ご使用の屋上換気扇の点検を！

愛情点検



このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

お願い
異常があれば
ご使用を
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店名	お買い上げ年月日 年 月 日
所在地	TEL
	FAX

《製品の廃棄について》 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-285-240

Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com

株式会社 **スイデン** 〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪 2-4-24 ホームページ <https://www.suiden.com>